

2020年 棚田学会大会シンポジウム

テ ー マ：棚田地域振興法による中山間・棚田地域活性化への期待

開催趣旨：棚田地域振興法の成立・施行（2019）は、棚田の社会的価値が世間に広く認知される契機となり、棚田に関わる多くの人たちに大きな期待を抱かせています。また、いま世間を騒がせているコロナ禍をきっかけに、これまで棚田に縁が薄かった都市住民の間で、三密のない農山村に関心が深まっているように感じます。そのような状況下、食卓の向こうに美しい棚田や農村風景が浮かぶようになれば、棚田や農村ファンが増え、都市・農村交流が進むと期待して、このシンポジウムを企画しました。多くの分野の皆さまの参加を心から願っています。

日 時：2020年12月12日（土） 13:00～16:30

開催方式：ZOOMによるオンライン方式（参加申込み者には後日E-Mailで案内）
ZOOMを利用しない会員には、都内にサテライト会場を設け数席用意しますのでご利用ください。

参 加 費：無料（事前申込みが必要です）会員以外の方も無料で参加できます。

プログラム：

1. 開会挨拶 山本早苗 棚田学会研究委員（棚田学会理事 常葉大学社会環境学部准教授）

2. 第一部

基調講演 棚田地域振興法について ～その理念と将来展望～
農林水産省 農村振興局 地域振興課 遠藤知庸課長（40分）

3. 第二部

パート1 都道府県・市町村段階での取り組み事例と研究現場からの報告（各15分）

報告1 和歌山県（都道府県レベル）の取り組みの現況
和歌山県 農林水産部 里地・里山振興室 岡村成実室長

報告2 佐賀県玄海町（市町村レベル）の取り組みの現況
佐賀県 玄海町 企画商工課 地域おこし協力隊
棚田プランナー 国重亜樹奈氏

報告3 棚田地域振興法への期待と課題 ～研究者の視点から～
明治大学農学部 橋口卓也教授

パート2 総合討論（60分） 司会：安井一臣 棚田学会研究委員長（棚田学会副会長）

4. 総括および閉会挨拶 山路永司 棚田学会長（東京大学名誉教授）

主催 棚田学会

後援 農林水産省

協賛 公益財団法人 SOMPO 環境財団

講演者・報告者の紹介

遠藤 知庸 氏 農林水産省 農村振興局 地域振興課 課長



略歴：1965年生まれ、神奈川県出身。北海道大学農学部農業工学科卒。
1990年農林水産省入省後、在チリ日本国大使館、富山県、(一財)日本水土総合研究所、農村振興局、石川県などを経て現職。
富山県時代にグリーン・ツーリズムに携わり、利賀村の相倉、菅沼の棚田を活用した振興を経験。農村振興局では子ども農山漁村交流プロジェクトなど都市農村交流を推進。石川県では白米千枚田を含む世界農業遺産の能登地域とフィリピン国イフガオ州との交流を支援するなどの棚田の保全・活用に関係してきた。

岡村 成実 氏 和歌山県 農林水産部 里地・里山振興室 室長



略歴：1962年、和歌山県生まれ。1985年和歌山県庁入庁。
農業工学職として、県営土地改良事業の設計・施工・監督業務や市町村指導、国営土地改良事業の計画策定や実施調整の業務に携わる。棚田との関わりは、第19回(2013年)全国棚田(千枚田)サミットの有田川町開催決定がきっかけ。2019年に新設された里地・里山振興室初代室長。里地、里山など、農村環境の保全及び活用等を推進するために、日本型直接支払制度、ふるさと水と土保全基金事業、農業遺産認定申請支援など、多岐にわたる制度の活用や活動の支援を行っている。棚田地域振興法に関しては、「地域が主役」を基本に、持続可能な棚田地域作りを目指した取組を進めている。

国重 亜樹奈 氏 佐賀県 玄海町 企画商工課 地域おこし協力隊 棚田プランナー



略歴：1990年、福岡県生れ。大学卒業後、新幹線パーサー、国内旅行添乗員など、多様な仕事で経験を積む。棚田や地域活性化に関心があったので、地域おこし協力隊に応募し、2019年、佐賀県玄海町に採用される。採用後は棚田プランナーの肩書で活動中。主な活動は、棚田に関する各種イベント(体験米作りなど)の企画、棚田米のブランド化、棚田保全や耕作放棄地の活用提案(景観植物の植栽)などである。これらの活動には町民の参加が不可欠で、広報活動が欠かせない。若者の視点でSNSをフル活用し、都会の若者や外国人も意識した情報発信を続けている。棚田地域振興法に関しては、既に浜野浦棚田の振興計画が認定済み。現在、具体的取組を進めている。

橋口 卓也 氏 明治大学 農学部 食料環境政策学科 教授



略歴：1968年、鹿児島県生まれ。東京大学大学院農学系研究科修士課程修了、同博士課程中途退学。博士(農学)。同大学院助手、財団法人農政調査委員会研究員を経て2005年より明治大学農学部農業経済学科(現、食料環境政策学科)勤務。専攻は農政学、条件不利地域農業論。『中山間地域の共生農業システム』(共著、農林統計協会、2006年)、『条件不利地域の農業と政策』(単著、農林統計協会、2008年)、『中山間直接支払制度と農山村再生』(単著、筑波書房、2016年)、『内発的農村発展論—理論と実践』(共編著、農林統計出版、2017年)など著書、学術論文多数。創立時より棚田学会会員。棚田の営みが持続することを願っている。

お問合わせ & 参加申し込み 締切：12月5日(土)

E-mail : k-yasui@qf7.so-net.ne.jp FAX : 042-385-1180

郵便 : 〒184-0015 東京都小金井市貫井北町 1-14-5-101 ふるきやら内 棚田学会

オンライン参加 サテライト参加

氏名 _____ 所属 _____ 会員 非会員

連絡先 〒 _____

E-Mail _____ TEL _____

参加申込みの個人情報は棚田学会の事務連絡以外には使用いたしません